

トラック運転手 「居眠りしていた」 工事現場にトラック突っ込み作業員ら6人死傷 ◆2時間ごとに、15分休憩!◆

2015年2月20日(金)10時36分

20日午前1時半ごろ、岡山県の国道で、補修工事をしていた中央分離帯に大型トラックが突っ込んだ。工事の作業員のうち男性(61)が死亡したほか、4人とトラック運転手の男性(61)の計5人が軽傷を負った。けがをした5人は30~60代という。警察によると、現場は片側3車線の直線道路。当時、中央分離帯の両側1車線を通行規制して工事をしていました。調べに対しトラック運転手の男性容疑者は、「居眠りをしていました」と供述しているという。

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意!
夕方からの積卸作業時は、ヘルメット・ライトを使用すること

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩!

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ~し!」

自分は、事故を起こすはずがない? 事故に遭うはずがない?

めかるんだ道路 トラックが転落 運転手死亡

[2015/2/20 17:22]

19日午後、島根県で、走行中のトラックが道路から法面に転落し、運転していた男性が死亡した。19日午後3時半頃、運転していたトラックごと、町道工事現場の仮設道路から50メートル下の法面に転落しているのが発見された。男性はガソリンスタンドに勤務していて、重機への給油のため工事現場に向かっていました。仮設道路は舗装されておらず、当時めかるんだ状態だったということで、警察が詳しい事故原因を調べている。

クレーンが転落、運転手死亡

2015年02月20日(金) 16:39

20日午前10時25分頃、高知県の町道の改良工事現場で、会社員の男性(56)がクレーンで重さ約3.6トンのコンクリート製の擁壁を吊り上げていたところ、バランスを崩して道路から約3メートル下に転落した。この事故で男性は操縦席に閉じ込められ、消防隊などが救出したが、約4時間20分後に死亡が確認された。警察で事故の原因を調べている。

スピードが相当出ていた可能性

乗用車が支柱に衝突 1人死亡、1人重体

2015年2月20日(金)12時5分

宮城県の国道で20日午前2時半ごろ、乗用車が道路脇の支柱に衝突し、乗用車を運転していた男性が死亡、助手席の男性が意識不明の重体となっている。乗用車が、右折しようとしたところ、道路脇にある車両感知器に衝突した。この事故で、乗用車を運転していた自動車販売業の男性(37)が全身を強く打ち、死亡した。また、助手席に乗っていた理容師の男性(37)も、意識不明の重体となっている。現場は緩い右カーブで、警察では、スピードが相当出ていた可能性があると、事故のくわしい原因を調べている。

停車中の車にトラック衝突 夫婦死傷

(2015/02/20 12:02)

20日午前1時すぎ、滋賀県の国道で止まっていた軽乗用車にトラックが追突し、軽乗用車が横転し夫婦が死傷する事故がありました。当時車の脇には、運転していた無職の男性(79)が立っていて、はね飛ばされて頭を強く打ち、死亡しました。また、助手席に乗っていた妻(76)も右足の骨を折るなどの重傷です。